



飛翔

新佐渡空港実現に向けて—

夢・希望・可能性
明日の空へ
飛翔



～佐渡に、ジェット機が飛べる

滑走路 2,000m空港を！～



空は日本全国、

全世界とつながっています

佐渡にも空でつながる

空路が必要です

佐渡新航空路開設促進協議会

佐渡空港の現状

佐渡空港は新潟県が管理する空港ですが、現在滑走路の長さが890mしかなく、小型プロペラ機しか離発着ができません。また、平成26年4月以降、佐渡ー新潟航空路線は運休となっています。

- ◆設置管理者 / 新潟県
- ◆滑走路(長さ×幅) / 890m×25m
- ◆就航可能な航空機 / アイランダー(9席)
ツインオッター(19席)
ドルニエ228(19席)等

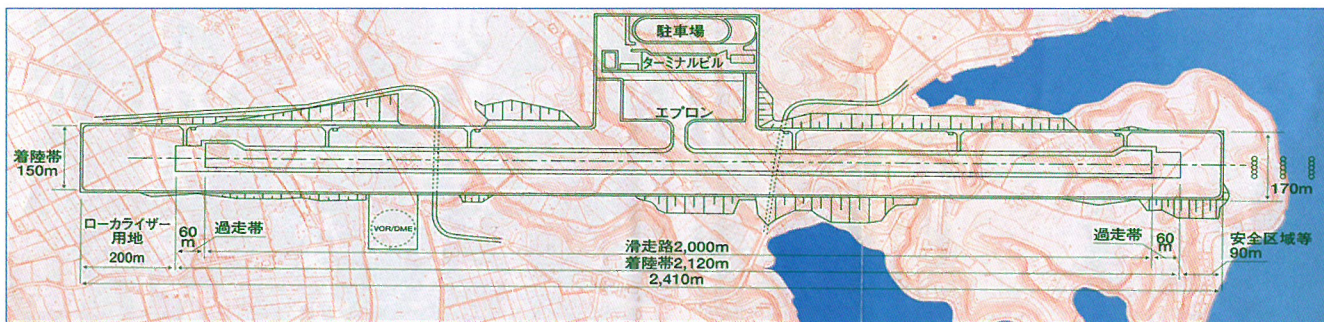


佐渡空港滑走路2,000m化への期待

佐渡には世界的な3つの資産、世界農業遺産(GIAHS)、ジオパーク、佐渡金銀山があります。佐渡金銀山の世界遺産登録を見据え、インバウンドを含めた大都市圏との航空路線ができれば、交流人口の拡大や佐渡の活性化につながります。災害などの緊急時には、人員・物資輸送の観点から多くの救援機の受入れが可能となり、島民の安全安心の確保に大きな役割を果たします。

※東日本大震災や中越大地震で、道路、港湾が使用できなくなった時、輸送機の離発着により空港が救援活動に大きく貢献しました。

新佐渡空港滑走路2,000mイメージ図



- ◆滑走路(長さ×幅) 2,000m×45m
- ◆就航可能な航空機 ○リージョナルジェット機(50~90席程度)
○ジェット機(120~180席程度)



参考 佐渡ー東京間の所要時間比較

■新幹線・ジェットフォイル利用の場合
佐渡ー新潟港ー新潟駅ー東京駅

約4時間

※カーフェリー利用の場合は約5時間30分

■空路の場合
佐渡空港(拡張整備後)ー羽田空港

約1時間

だんぜん
早い!

佐渡新航空路 開設促進協議会の活動について

佐渡新航空路開設促進協議会（以下、促進協）では、離島佐渡と本土との交通体系を確立し、地域経済の活性化並びに島民の生活安定や福祉の向上を図るため、佐渡空港の拡張を促進し、新航空路の開設を目指しています。

①調査、研究活動

◆「離島空港の課題と佐渡空港の活性化」についての講演会

離島路線の現状と課題等を調査・研究するため、平成27年7月24日に株式会社北海道エアシステム 代表取締役社長 桑野 洋一郎 様（佐渡市出身）を講師に招き、「離島空港の課題と佐渡空港の活性化」について促進協会員などを対象に講演会を開きました。

○2,000m化の空港整備と並行して佐渡の魅力を確認してもらうことや、外国人観光客の取り込みなど、ターゲットの明確化も必要であり、佐渡から「羽田だけではなく成田や関西など国際線に乗り継ぎができる空港も検討してはどうか」と提案を受けました。



講師の桑野様

佐渡金銀山の世界遺産登録も見据え、インバウンド需要の取り込みにつながるよう国際線との接続についても研究していきます。

◆隠岐空港の先進地視察

平成27年10月21日～22日に隠岐空港の先進地視察を行いました。隠岐の島（島後）は、島根半島の沖合約80kmの海上に浮かぶ隠岐諸島最大の島で、佐渡島と同様に航路ではカーフェリーとジェットフォイルで本土と結ばれています。また、空路では伊丹空港や出雲空港と結ばれており、平成18年7月からジェット機が就航可能な2,000m滑走路を有する飛行場として運用しています。



隠岐世界ジオパーク推進協議会より

○隠岐諸島（人口20,402人/H27年3月現在）と佐渡島は、本土との交通体系が非常に似ており、今回の視察において、隠岐空港の現状や地権者の理解を得るまでの過程等を学び情報交換を行いました。

隠岐空港は、百十数軒が集団移転して建設された空港です。航空輸送への理解を深めてもらえるよう世論喚起に取り組み、同意取得交渉の後方支援のあり方を考え、佐渡空港拡張整備計画の事業化を促進していきます。

空路を利用して隠岐の島に来島した場合でも、隠岐諸島の4島を周遊ルートとして観光させる取り組みを行っており、航路の利用にもつながっています。

隠岐空港（愛称：隠岐世界ジオパーク空港）

- ◆設置管理者 …………… 島根県
 - ◆滑走路（長さ×幅） …………… 2,000m×45m
 - ◆定期便就航路線
 - 大阪（伊丹）便 …………… 1日1往復2便（所要時間55分）
 - 出雲便 …………… 1日1往復2便（所要時間35分）
- ※出雲空港から羽田、名古屋、福岡、大阪便が運航

国内の6空港からチャーター便も運航され、観光客を受け入れています。

**都市と直結の
チャーター便が大幅増！**

②啓発、普及活動

◆空の日記念イベント

平成27年9月19日(土)、佐渡空港において空の日記念イベントに参画し、セスナ機による体験遊覧飛行を実施しました。

また、「佐渡空港滑走路2,000m実現サポータークラブ」の新規会員を呼びかけ、事業に対する理解を求めました。

- 来場者750名
- 体験遊覧飛行31名(約250名の方から抽選)



リョウツ・デ・フリマでのPR

◆PR及び新規会員呼びかけ

平成27年9月4日(金)～5日(土)、7日(月)、佐渡国際トライアスロン大会会場(アミューズメント佐渡)及び11月3日(祝)、両津商工会主催のリョウツ・デ・フリマにおいて、佐渡空港滑走路2,000m化のPR並びに「佐渡空港滑走路2,000m実現サポータークラブ」の新規会員を呼びかけました。

佐渡空港滑走路2,000m実現サポータークラブ会員数(平成28年3月10日現在)

個人 5,649名 / 企業・団体 211社(団体)

佐渡空港滑走路2,000m実現 サポータークラブ会員募集!!

入会費
年会費 **無料**

～島の未来へテイク・オフ みんなでつくろう新佐渡空港～

佐渡空港滑走路2,000m化を促進し、大都市圏との新航空路の開設に向けて、国・県への要望活動をはじめ、離島における空港整備の必要性をPRしています。空港整備事業の推進のため、ご賛同いただける方を募集しています。

事業概要及び会員登録については、以下のホームページによりご確認ください。

<https://s-kuko2000.com>



空港整備事業を
早期に進めるため、
多くの皆様のご賛同を
お願いいたします。



TOPICS (トピックス)

2015年の訪日外国人旅行者は前年比47.1%増の1,973万7千人で、過去最高となりました。約7割の方が東アジアからの旅行者です。《爆買い》という言葉が2015年の新語・流行語大賞となりましたが、政府も「観光立国」の実現を掲げ、2020年を重要な通過点としてその先には外国人旅行者3,000万人が訪れるような世界に誇れる国づくりを目指しています。

佐渡の魅力の世界に発信し佐渡金銀山の世界遺産登録を見据え、インバウンドを含めた大都市圏と空でつながる空路が佐渡には必要です。



今後とも、促進協は佐渡空港2,000m滑走路実現に向け、引き続き努力します。
皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

つなげよう滑走路 2,000mへ!!

佐渡新航空路開設促進協議会 事務局:佐渡市交通政策課 〒952-1292 佐渡市千種232番地
Tel:0259-63-3184 FAX:0259-63-3300 ホームページアドレス <https://s-kuko2000.com>